

最終ガイドライン

1 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 鹿児島県バレーボール協会のホームページに「R4 天皇杯・皇后杯県予選参加書類作成ファイル」があるので、ダウンロードして以下の準備をしてください。

① 参加生徒は**様式1（生徒）**で大会2週間前（6月18日）から体調チェックを行う。顧問は毎日生徒の体調チェックを実施する。チェック表は顧問で管理を行っていただき、必要な場合に提出できるようにしておいてください。

② 部顧問は**様式2（顧問）**で大会2週間前（6月18日）から体調チェックを行う。（管理については上記と同じ）

③ 大会当日の必要書類

・**体調確認書（選手スタッフ）・ID印刷（選手スタッフ）・体調確認書（保護者等）・ID印刷（保護者等）**

体調確認書（選手スタッフ）は各日ごとに提出となるので、受付時に毎日提出する。体調確認書（保護者等）は入場の際に係に提出してIDと照合して入場します。IDはそれぞれのチームでカードケースを準備して作成してください。

(3) **大会会場入場の人数制限については、1日目は30名、2日目は40名とする。入場時間は試合開始時間の約15分前とします。入場の際にIDチェックを行います。2試合目以降も同様です。**

※ 新型コロナウイルス感染状況次第では、無観客となる場合があります。県協会HPに掲載します。

A・Bチームなど複数チーム出場する場合は、それぞれ単独のチームとして取り扱う。選手等の共有はできない。保護者の観戦についても同様。

2 試合運営について

(1) 開館時間 8:00

(2) 試合設定時間（試合開始時間）

7月2日（土）

第1試合 9:40 第2試合 10:50 第3試合 12:00

第4試合 13:10

7月3日（日）

第1試合 9:40 第2試合 10:50 第3試合 13:00

第4試合 14:30

①上記設定時間より早く試合を開始することはありません。

②設定時間を過ぎた場合は、前の試合終了後、20分程度のウォーミングアップ時間を取ったうえで試合時間を設定します。

(3) 入場時間

前の試合終了後、入場可能とします。

3 第1試合の開始から終了まで

(1) 開館後、チームが入場しコート設営を行い、その後ウォーミングアップを開始します。

(2) 9:15に第1試合の補助員（第2試合のチームから8名）は記録席に集合してください。

(3) 試合終了後、ベンチなどの消毒をしてから速やかに退場してください。

(4) 記録用紙が完了したら、本部競技へ提出し本部は次の試合の設定時間をアナウンスします。

4 第2試合目以降について

(1) 原則、設定時間で運営をしていきます。

(2) 補助員は負けたチームから8名出してください。

(3) 体育館の空きコートは、アップコート（ネット設営無し）として会場責任者が設定する。

次の試合のチームはストレッチなどの静的ウォームアップまたはランニング等のウォームアップのみとする。ボールを使ったアップは禁止する。

- 5 セット間や試合間などを利用して換気をする場合があります。
- 6 ベンチの椅子の数は6個とします。
- 7 試合に出ていない選手はマスクを着用してください。(ベンチ・アップゾーンも含む)
- 8 ベンチ・アップゾーンからの応援は拍手のみとし、継続的な声援などは禁止します。
- 9 登録メンバー以外6名まで、公式練習終了までの練習補助として参加しても構いません。
(ただし、チームウェアが揃っていること。卒業生は不可)
- 10 チームスタッフによる対戦相手のビデオ撮影は許可します。(本部に許可を得てください)
- 11 チームスタッフについて
チームスタッフは「引率責任者」「監督」「コーチ」「マネージャー」とします。コーチが複数名いるチームも全員チームスタッフとして入場してもかまいませんが、必ず体調チェック表に記載しIDを作成すること。
- 12 会場でのマナーについて (感染症対策も含む)
 - (1) 極端に早い時間に駐車場に並んだり、場所取りをしたりしないでください。
 - (2) 会場の器物破損やトイレ・更衣室を汚さないようにしてください。
 - (3) 弁当殻、ペットボトルや空き缶などのゴミは、必ず各チームで持ち帰りを徹底してください。
 - (4) 会場での置き引きや靴などの盗難が発生しています。チームでの管理を徹底してください。
- 13 観戦について
 - (1) **観戦は保護者(両親・祖父母・兄弟)のみとし卒業生等の観戦は不可とする。**
 - (2) **観戦方法は拍手のみとし、声援等は禁止とする(太鼓等の鳴り物、ラジカセ等の使用は不可)。**
 - (3) チームスタッフによる対戦相手のビデオ撮影は1名のみ許可する。(ID着用)
- 14 熱中症対策
 - (1) 試合当日の気温・湿度を考慮し、各会場で給水タイムを設定してよいこととする。給水タイムは各セット1回でどちらかのチームが13点取った時点で審判が合図を行う。その間にベンチスタッフ(マネージャーも含む)は選手に接することはできない。**(各会場の競技・審判部で判断する)**
 - (2) 各チームは、氷やドリンクを各自準備しておくこと。
 - (3) **空調が入る会場は、競技・審判等で判断し、使用してもよい。(当日判断)**
- 15 全体注意事項
 - (1) 試合中以外はマスクの着用を確実にすること。
 - (2) **アップゾーンの選手はマスクを着用すること。アップゾーンでの声援等は禁止する。**
 - (3) ベンチに座るコーチ・マネージャー・選手は適切な距離を確保すること。(マスク着用)
 - (4) 体育館の空きコートでのストレッチや更衣室では、人との接触が大いに想定されるので、マスクを着用する。
 - (5) 熱中症の予防の観点から、密集が避けられる場面ではマスクを外して体温調節すること。
 - (6) 観戦者や勝ち上りチームの待機時にもマスクを着用すること。
 - (7) **チームは消毒液(アルコール等)を準備し、入場の際や更衣室などの使用場所を消毒すること。**
 - (8) **コートオフィシャルの筆記用具は、各チームで準備すること。**
- 16 <学校が臨時休校や学級閉鎖等の措置をとっている場合>
臨時休校が大会期間中にかかる場合は、原則として参加不可とする。学校の一部が休校の場合(学級閉鎖・学年閉鎖等)、大会への参加は**保健所および校長の判断に従うこと**。(特に、感染拡大防止の観点で判断すること。)
※ チームへの対応の場合、学校によって判断の異なりが出るのが懸念されるが、事前にチームにその対応方法について周知しておくこと。